

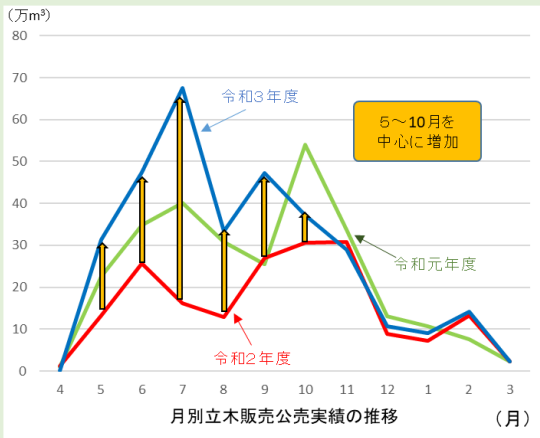
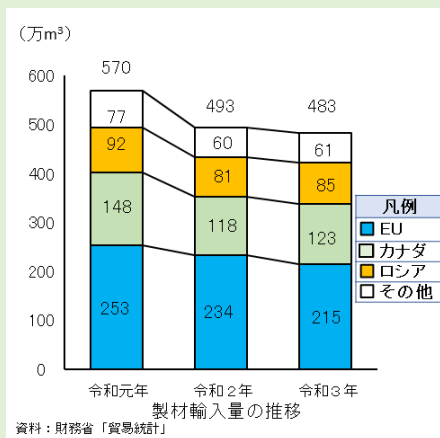
# トピックス1 国有林野事業における木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応

## （各森林管理局）

国有林野事業では、地域の木材需給状況が急激に変化した場合において、各森林管理局及び本庁で国有林材供給調整検討委員会を臨機に開催して各地域の需要等を踏まえながら、供給時期の調整等により供給調整機能を発揮するよう努めています。

令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が縮小し、我が国では新設住宅着工戸数が減少したことなどに伴い素材（丸太）需要が減少したことから、立木販売\*の公告延期等を実施しました。一方で令和3年に入って、我が国の住宅需要が回復する中、米国での木材需要の高まりやコンテナ海上輸送費の上昇などを背景に輸入木材が不足、価格が高騰し、国産材への代替需要が生じ、国産丸太への需要も高まりました。

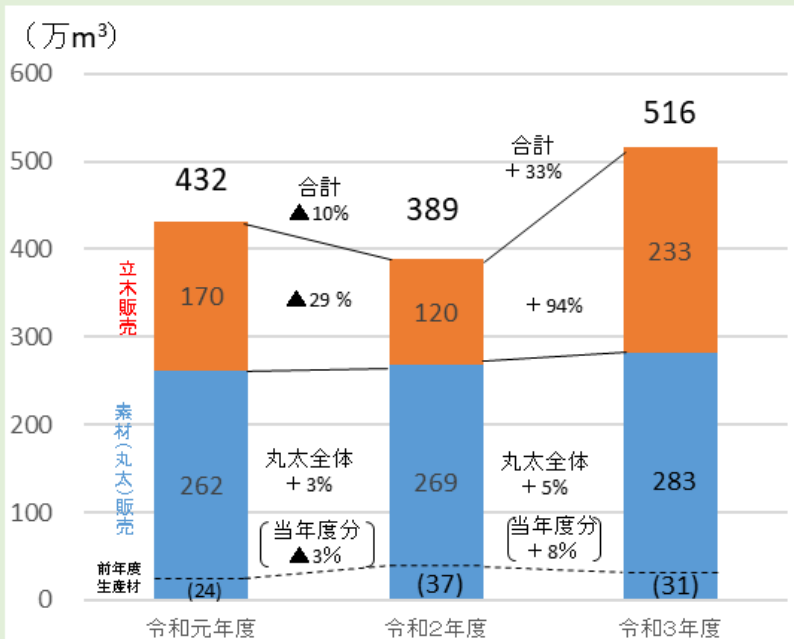
このことを受けて、令和3年度は需要増加に対応するため、各森林管理局では、国有林材供給調整検討委員会の意見等も踏まえ、年度当初から立木販売物件の前倒し販売、素材生産請負事業の早期発注、生産した素材（丸太）の早期販売等を実施しました。



地域によっては国産丸太への旺盛な需要は年度末まで継続し、地域事情を踏まえたきめ細やかな対応に努めた結果、令和3年度の国有林材供給量については、前年度比約3割増加しました。

こうした取組について、本庁の国有林材供給調整検討委員会では、「令和2年度は木材需要が低迷する中で供給を抑え、令和3年度には木材の不足感が強くなる中で前倒しで丸太を供給し、国有林で行った供給調整には一定の効果があつた。」と評価されました。

今後においても、国有林材の安定供給に努めつつ、国有林材供給調整検討委員会での意見等を踏まえながら立木販売の前倒しや公告延期など柔軟な対応に取り組んでいきます。



国有林材供給量の推移

立木販売：樹木を伐採せず、立木のままで販売する方法。数量は立木販売量を素材（丸太）換算した丸太材積（推計）。

素材販売<sup>\*</sup>：間伐<sup>\*</sup>等の森林整備によって得られた丸太を販売する方法。数量は丸太材積。